

中二国語科通信

第4号
平成30年9月21日
国語科2年担当
奥池・高崎・狭間



籠いっぱい極早生みかんの盛られている
辺りに青い香り放ちて

コラムマラソン 第四回

「初めまして（自己紹介）」
高崎伊緒里

夏休みの宿題として、皆さんには「お米とわたし」または人権に関する作文を書いてもらいました。いくつか選出してすでに応募済みですが、応募にまだは至らなかったけど表現が面白く心惹かれるーという作品はたくさんありました。

君の作品を紹介しします。一組のK君は、普段は割と無口ですが、文章を書かせるとなんと味の、洒落の効いた、よい表現を連発してくれました。今回も、読みながら思わずクスッと笑ってしまうような、K君の顔が思い浮かぶような、そんな作品に仕上がっています。ぜひ読んでみてください。字が小さくてめんない。若い皆なら大丈夫よね

お知らせ

入学時から一年半、この学年を担当していた日高由里子先生が、育児休暇のためお休みをされることになりました。九月以降は、文理科二年所属の高崎伊緒里が担当します。新たなメンバーを迎え、我々も心機一転頑張ろうと思いますので、よろしくお願ひします。

産休に入られた日高先生に代わり、今月より中学二年生(二の二・S1コース)の教科担当になりました。高崎伊緒里(たかざきいおり)です。十四年前に本校の文理科を卒業しました。家族は夫と一歳二ヶ月の息子の三人で、日々息子の成長を楽しんでいます。

1組 M・K

「お米」

僕はお米が大好きです。理由はくわしくは分かりません。ですが、物心ついた時から食べていたので、というか食べさせられていたという感じでしょうか。小さい頃、朝の起きたばかりのところに母がおにぎりを無理やり口につめこんできました。それもほぼ毎日僕は寝転がって子ども番組を見ながらただぼーっと食べていたのを覚えています。そんな感じで人より少し多くお米を食べてきた僕ですが、あるとき変化がおとずれてきました。小4ぐらいでしょうか。太ってきてしまったのです。その時、初めて炭水化物は摂り過ぎたら太るというのを知りました。これを機に食べる量を少しばかり減らしたのですが、少し減らしたぐらいじゃどうにもならず、小5で鬼ごっこを毎日して、ようやくやせました。人は、走ればやせるというのを気付かせてくれたのはある意味お米なのかもしれません。

そんな僕ですが、今もこりずにお米をたくさん食べています。おかげで小5のとき、せっかくやせることができたのに、中2にして、また太ってきてしまいました。リバウンドというやつでしょうか。リバウンドを経験できているのも、ある意味お米のおかげなのだろうと思います。そういう風に、お米と一緒にこの十四年間、酸いも甘いも噛み分けてきましたが、実は僕、お米を食べる時に守っていることがあるんです。それはお米は全部残さず食べるということです。いたって普通のこともかもしれませんが、これを守ろうと決めた理由があります。これもまた小さい頃の話ですが、祖母が、「お米一粒の中には神様が8人いるんだよ。」と言ったのがきっかけです。その時の僕はけっこう衝撃を受けました。なんでこの中に8人も入っているんだ、1人で十分でしょ、と思いましたが、相手が神様なら食べ残すのはさすがに失礼かなと思ひ食べるようにしてきました。もちろん、今でも信じている訳ではありませんが、小さい頃やっていた名残で今でも守るようにはしています。そういう感じでお米との付き合いも長くなりましたが、親しき仲にも礼儀ありと言いますし、食べ過ぎないように、バランスを考えて食べていきたいです。

本校での勤務は七年目ですが、中学校の授業は今回が初めてということでもドキドキしています。すでに何回か授業がありましたがお互い緊張しながらも生徒の皆さんが笑顔で温かく迎えてくれているので安心しているところです。

実は、昔は国語があまり得意ではありませんでしたが、しっかり勉強したおかげであらゆることの土台となる国語力が鍛えられ、特に大人になつて良かったなと気づくことが多くあります。日本語は本当に奥が深く、いつになっても日々勉強です。一緒に楽しく学んでいきましよう。